

さよならキリスト教

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/11/24

「さよならキリスト教」

- このまま行くと日本から「キリスト教」がなくなってしまう
 - 減少していくクリスチャン人口0.5%以下？
 - 減少していく教会(コロナの3年間で約1000の教会が閉鎖あるいは合併された:全体の1/7)
 - 高齢化(牧師の平均年齢が70歳を超えている)
- 聖書の真理が日本から失われてはならない
 - この国に「キリスト教」が根付かなかった理由を考えることで、どうすれば聖書の真理を正しく伝えることができるか見出したい！

神が望んでおられる事

神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

テモテへの手紙2章4～6節

動画視聴数ベスト3

- **3位:「クリスチャンが嫌いだ」(1157回)**
 - 堅苦しくお高くとまっている
 - 悪い事をいっぱいしてきたのに正義面している
 - 自己中心で偽善的
- **2位:「教会が嫌いだ」(1309回)**
 - 人間関係が煩わしい
 - 牧師に傷つけられた、つまずいた
- **1位:「戦争に協力した教会」(2405回)**
 - 第二次世界大戦の時、キリスト教会は(一部を除いて)戦争に反対せず、むしろ協力した

動画視聴数ベスト3

- **3位:「クリスチャンが嫌いだ」(1157回)**

- 堅苦しくお高くとまっている

- 悪い事ばかりしている

- 自己

- **2位:**

- 人間

- 牧師に傷つけられた、つまずいた

- **1位:「戦争に協力した教会」(2405回)**

- 第二次世界大戦の時、キリスト教会は(一部を除いて)戦争に反対せず、むしろ協力した

**キリスト教は
良く思われていない！**

3回の宣教の好機を逃してきた

•戦国時代 **支配**

- カトリックの宣教により爆発的に拡大
- 鎖国・禁教政策によって壊滅的打撃

•明治時代 **倫理・教育**

- プロテスタントの宣教が始まり、子女教育、知識層に広がるも、庶民には嫌われる
- 軍国主義政策により勢いが止まる

•戦後 **文化**

- 宣教団体・宣教師たちを中心に広がったが、21世紀を前に失速(経済成長+宗教離れ)

分かりにくいキリスト教の教え

- 「神」が分からない

- そもそも創造主を「神」と訳したことに問題が

- 「罪」についての誤解

- 「罪」=「悪事」と思わせてしまった

- 「救い」についての誤解

- 救われなくてはならないとは思えない

- 聖書の言葉は知られているが…

- 「パンのみにて…」「狭き門」「右の頬を打たれたら…」「目には目を」
- 聖書の本質的な教えは覚えられていない！

クリスチャンも苦戦している

- 「教会卒業」問題

- 平均約3年で教会を去る

- 伝道が苦手

- 「時が良くて悪くても」と言われているが…

- 聖書が苦手

- 聖書によって直接神と結びつかねばならない

- 三位一体が分からない

- 日本人のつまずきの要素だが上手く説明出来ない

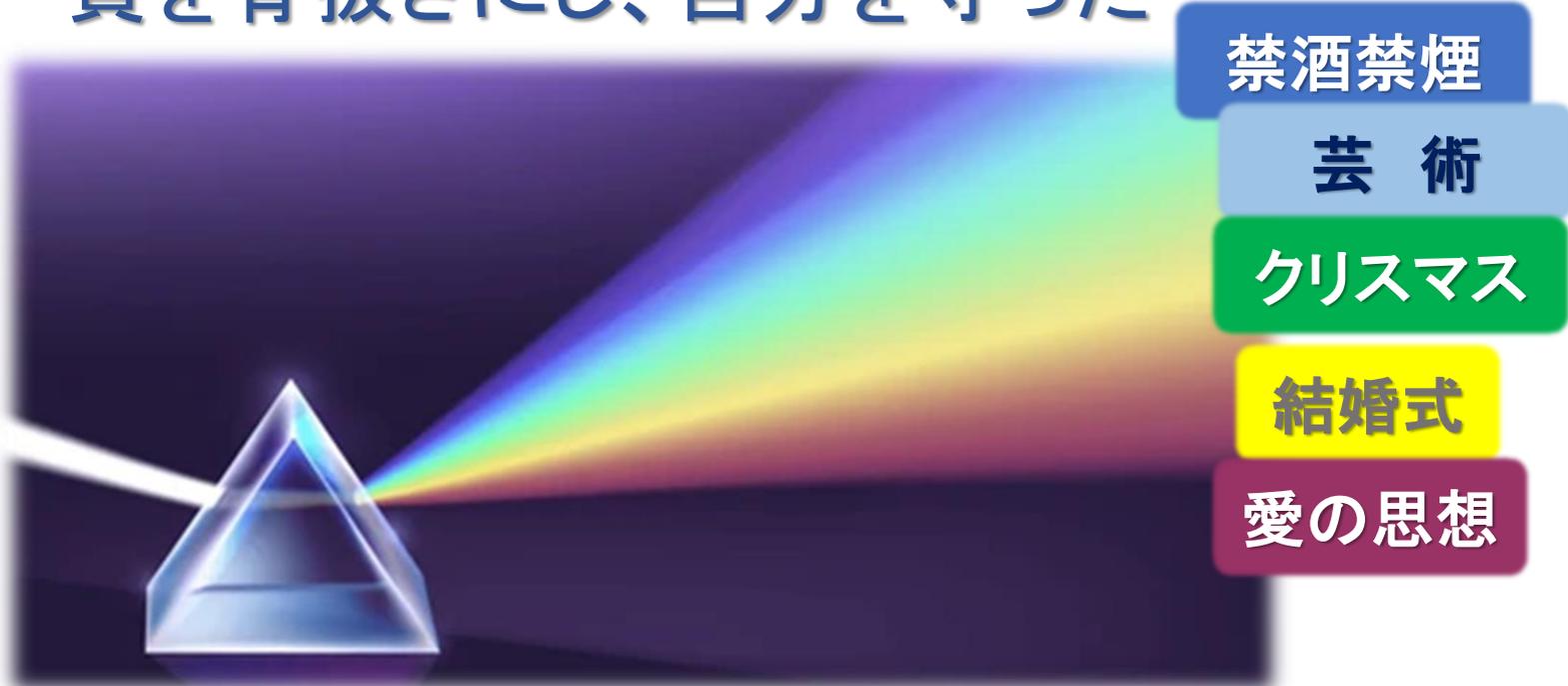
日本人の宗教観

- 神々が大好きだが、結局は自分が神
 - 心の王座を誰にも渡したくない
- 拝みはするが従いはしない
 - 神は利用するものであって、服従するものではない
- 「死者の崇り」を恐れている
 - 不幸の原因を死者の崇りとすることで納得してきた

日本宣教最大の問題点

日本における教会は、キリスト教の形
(倫理道徳・文化・形式)は伝えたが、本
質を伝えることに成功しなかった

日本人は本質を明らかにすることを嫌い、
「曖昧模糊」とすることでキリスト教の本
質を骨抜きにし、自分を守った



禁酒禁煙

芸術

クリスマス

結婚式

愛の思想

キリスト教の「本質」とは

創造主でありながら人となり、
全人類の罪の身代わりとして死なれたが、三日目に復活し、
今も生きて私たちと共に
おられる神

神が望んでおられる事

神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

テモテへの手紙2章4～6節